



平成 30 年 9 月 7 日

各 位

会 社 名 株式会社ハイレックスコーポレーション  
 代表者名 代表取締役社長 寺浦 實  
 (コード番号 7279 東証第2部)  
 問合せ先 経理グループ担当執行役員 芦田 安功  
 (TEL 0797-85-2500)

通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会におきまして、最近の業績動向を踏まえ、平成 30 年 6 月 8 日に公表しました通期(平成 29 年 11 月 1 日～平成 30 年 10 月 31 日)業績予想を下記のとおり修正することといたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成 30 年 10 月期の通期連結業績予想数値の修正(平成 29 年 11 月 1 日～平成 30 年 10 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回予想 (A)	243, 200	12, 760	14, 460	8, 720	229. 38
今回修正予想 (B)	245, 600	11, 320	12, 960	5, 780	152. 04
増減額 (B - A)	2, 400	△1, 440	△1, 500	△2, 940	—
増 減 率 (%)	1. 0	△11. 3	△10. 4	△33. 7	—
(ご参考) 前期実績 (平成 29 年 10 月期)	257, 284	14, 508	16, 744	8, 715	229. 32

2. 修正の理由

通期(平成 29 年 11 月 1 日～平成 30 年 10 月 31 日)の連結業績予想は、最新の情報に基づく販売予想の見直しを行った結果、連結売上高は前回発表予想比増加する見込みです。一方、利益面におきましては、米国、中国並びに韓国における韓国系自動車メーカー向けの販売の低迷が長引き、海外子会社の収益性の悪化から回復が見込めず、連結営業利益、連結経常利益は前回発表予想比減少する見込みです。また、当社の米国子会社における品質関連費用の一部を将来負担する可能性が高く、且つ合理的な見積もりが可能な品質関連費用 19 億 7 千 3 百万円を製品保証引当金繰入額として、第 3 四半期累計期間連結業績の特別損失へ計上したため、親会社株主に帰属する当期純利益が、上記の通り前回発表予想比減少する見込みです。

(参考：対米ドル想定レートは、第 4 四半期平均 105 円とし、前回発表予想より変更ありません)

※業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって予想値と異なる可能性があります。

以 上